

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【公開番号】特開2015-12520(P2015-12520A)

【公開日】平成27年1月19日(2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-004

【出願番号】特願2013-137478(P2013-137478)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/00 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 C

G 06 F 3/12 K

B 41 J 29/00 E

B 41 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月24日(2016.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

近接無線通信を行う通信手段及び印刷手段を有し、前記通信手段を介して通信端末から要求されたデータの印刷を実行する印刷装置であって、

前記通信手段を介して前記通信端末から、当該通信端末または当該通信端末のユーザを特定するためのID情報を受信する受信手段と、

該受信手段でID情報を受信した場合、通信端末から前記通信手段を介して要求された印刷対象のデータの印刷に対する料金支払い手続きのための通信待機状態に遷移する遷移手段と、

該遷移手段による前記通信待機状態で前記通信手段を介して通信端末を検出したとき、当該通信端末のID情報が、前記受信手段により受信されたID情報と一致することを条件に、前記印刷対象のデータの印刷に対する課金処理と、当該印刷対象のデータの前記印刷手段による印刷処理とを実行する実行手段と、

を有することを特徴とする印刷装置。

【請求項2】

前記遷移手段によって通信待機状態にあるときに、前記通信手段を介して通信端末を検出し、当該通信端末に対応するID情報が、前記受信手段により受信されたID情報と一致し、かつ、当該通信端末が追加の印刷対象のデータの印刷を要求している場合、当該追加の印刷対象のデータを受信することを特徴とする請求項1に記載の印刷装置。

【請求項3】

前記遷移手段によって通信待機状態にあるときに、前記通信手段を介して通信端末を検出し、当該通信端末に対応するID情報が、前記受信手段により受信されたID情報と一致せず、当該通信端末が印刷対象のデータの印刷を要求している場合、当該印刷対象のデータを受信することを特徴とする請求項1又は2に記載の印刷装置。

【請求項 4】

前記受信手段により複数の通信端末から複数のＩＤ情報が受信され、且つ前記遷移手段による前記通信待機状態で前記通信手段を介して通信端末を検出した場合、前記実行手段は、前記複数のＩＤ情報のうちの当該通信端末に対応するＩＤ情報に基づき、当該ＩＤ情報に対応する印刷対象のデータの印刷と、当該印刷に対する課金処理とを実行することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の印刷装置。

【請求項 5】

前記通信手段による無線通信は、NFCであることを請求項1乃至4のいずれか1項に記載の印刷装置。

【請求項 6】

前記通信手段により検出された通信端末がNFCにおけるイニシエータであることを条件として、当該通信端末から印刷対象のデータを受信し、当該通信端末がNFCにおけるターゲットであることを条件として、前記実行手段により当該通信端末に対する課金処理を実行することを請求項1乃至5のいずれか1項に記載の印刷装置。

【請求項 7】

無線通信による通信端末と印刷装置の通信方法であって、

前記印刷装置が前記通信端末から、当該通信端末または当該通信端末のユーザを特定するためのＩＤ情報を受信する受信工程と、

該受信工程においてＩＤ情報を受信した場合、前記印刷装置が、通信端末から前記印刷装置に要求された印刷に対する料金支払い手続きのための通信待機状態に遷移する遷移工程と、

該遷移工程による前記通信待機状態で前記印刷装置が通信端末を検出したとき、当該通信端末のＩＤ情報が、前記受信工程において受信されたＩＤ情報と一致することを条件に、前記印刷装置が印刷対象のデータの印刷に対する課金処理と、当該印刷対象のデータの前記印刷装置による印刷処理とを実行する実行工程と、

を有することを特徴とする通信方法。

【請求項 8】

請求項7に記載の通信方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。